

【クロマティックハーモニカフェスティバル in 九州実行委員会委員長挨拶】

平嶋 雅之（福岡教室）

みなさんおはようございます。お忙しいなか「第2回クロマティックハーモニカフェスティバル in 九州」に足をはこんでいただきありがとうございます。

小学生のころクラス会や学芸会で「春の小川」や「ふるさと」をハーモニカでたのしく吹いたり、また聴いたりされたことと思います。少年や少女時代を思いださせるとてもなつかしいハーモニカの音色です。

いまでは谷村新司の「いい日旅立ち」のバックのリズムまた長瀬剛やポピュラー音楽の神様ステイビーワンダーなどのハーモニカ演奏で現代音楽をリードする楽器としてとても注目されています。

とりわけクロマティックハーモニカはピアノの白鍵盤と半音階の音をだす黒鍵盤をあわせもつ魔法のハーモニカとよばれています。

そんなうつくしい音色を愛する福岡・佐賀・熊本の北部九州の仲間が各地域の教室にあつまり、中島・清水先生指導のもと日々たのしく練習をかさねてまいりました。

ここに日ごろの練習の成果を美しく咲いた花のようにみなさんにご披露させていただきたいと思います。

演奏を聴かれた後にみなさんから演奏者へ温かいはげましの拍手をいただければありがたいと思います。そして時間のゆるす範囲で演奏をたのしんでいただければありがたいです。

本日はご来場していただき重ねてあつくお礼申しあげます。

【クロマティックハーモニカ道場 一美塾代表挨拶】

中島 一夫

第1回クロマティックハーモニカフェスティバル in 九州を2019年に八女市のおりなす八女で開催しました。翌年に第2回目をここ福岡市で開催する予定でしたが、コロナ禍の影響を受けて断念しました。それから4年が経ち、ようやく開催にこぎつけることができたことを大変うれしく思います。

日本、特に九州ではクロマティックハーモニカという楽器の認知度は複音ハーモニカと比較するとまだまだです。今回のフェスティバル開催を機に多くの方々にこの楽器の素晴らしさを知ってもらいたいと思っています。

今日は福岡・佐賀・熊本の3県に在住するクロマティックハーモニカ愛好家が一堂に集まり、さまざまなジャンルから50曲を超える名曲を5時間に渡り演奏します。

昔どこかで聴いた懐かしい曲、青春時代にテープが擦り切れるほど聴いた曲、友や恋人と一緒に聴いた曲、一人で涙した曲など、音楽は人生と共にあると言っても過言ではありません。日頃の喧騒から離れて、皆様のこれまでの人生を振り返りながらゆっくりとご鑑賞いただければ幸いです。

開催に当たり、福岡教室の皆さんには大変ご尽力いただきました。改めてお礼申し上げます。

清水 由美

第2回のフェスティバルをやっと福岡市で開催することができ感無量です。中島と私がこのハーモニカを習い始めたのは今から約25年前です。大牟田市在住の山名雄三先生からハーモニカの基礎をみっちり叩き込まれました。

私たちの教室は「クロマティックハーモニカ道場 一美塾」というユニークな名称です。ハーモニカを通して互いに励まし助け合いながら歩いていく。これは自分自身の人生をかけた修行とも言えます。そういう意味で「道場」という名前を付けました。

今日の演奏を聴かれてハーモニカを始めてみようかなと思われた方！是非最寄りの教室にお立ち寄りください。思い立ったが吉日ですよ。お待ちしております！！

皆さんが今日の演奏をお聴きになって、よし明日もまた頑張るぞ！！という気持ちになられたらこれに勝る喜びはありません。生徒一同、心を込めて演奏します。



クロマティックハーモニカとは？

従来のハーモニカのイメージを一新するような楽器それがクロマティックハーモニカです。この楽器は今から約200年前にドイツで生まれました。その後、幾多の改良がなされ現在に至っています。4オクターブの音域があり、半音階が出せるのでこれ1本であらゆる調の演奏が可能です。透明感のある伸びやかな音色が特長で、バンドやピブラート等の奏法を駆使すれば、ピアノやバイオリンなどにも負けない表現力が可能です。

クロマティックハーモニカ道場 一美塾（カズミジユク）

連絡先：音楽サロン チャント（大牟田市東新町 1-8-13）

☎070-5810-9958（清水）

ホームページ：<https://chant-kazumijuku.com/>